

2024年3月28日
日本空港ビルディング株式会社

世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間 関連イベント 「HANEDA BLUE WEEK」(無料) 羽田空港で初開催！



日本空港ビルディング株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長執行役員兼 COO：横田信秋）は4月2日（火）から8日（月）までの7日間、国連が定めた世界自閉症啓発デーと厚生労働省が定める発達障害啓発週間に合わせて、第1ターミナル5階 THE HANEDA HOUSE 内特設スペースで無料展示イベント「HANEDA BLUE WEEK」を初開催します。

「HANEDA BLUE WEEK」は、羽田空港が取り組んでいるダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの事例を紹介することで、多様性あふれる世の中への理解に繋げることが目的であり、羽田空港のバリアフリーのサービスに関するパネル展示のほか、航空会社関連企業の株式会社 JAL サンライトおよび ANA ウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社のご協力で、各社所属スタッフによる作品展示なども行います。

今後も当社は、さまざまな人が行き交う羽田空港旅客ターミナルの運営会社として、中期経営計画のビジョン「人にも環境にもやさしい先進的空港」を目指し、すべてのお客さまが安心してご利用いただけるターミナルづくりと取り組みの発信をしていきます。

■イベント概要

実施期間：2024年4月2日（火）～8日（月）

場 所：第1ターミナル5階 THE HANEDA HOUSE 内特設スペース

展示時間：10:00～16:00

展示内容：

- ・羽田空港のバリアフリーサービスの紹介パネル、アートウォール等
- ・株式会社 JAL サンライトによる絵画、ネイルアート、切り絵作品等
- ・ANA ウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社による紙漉き作品、木工作品等

※会場での作品の販売はしていません。

■4月2日「世界自閉症啓発デー」

2007年の国連総会において、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

わが国でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動を行っています。

それを踏まえ、厚生労働省では、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として社会全体で自閉症を含む発達障害の啓発に取り組む機会と捉え、自閉症・発達障害関係団体の協力を得ながら、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。



■株式会社 JAL サンライト

JALの特例子会社として障がい者雇用を促進する役割を果たすとともに障がい特性に基づく職務開拓やより働きやすい職場環境を整え、多様な人材が活躍するダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DEI) を推進しながら、JALと連携して社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現および社会の進歩発展に貢献する企業となることを目指しています。



JALサンライト

〈展示例〉



ネイルアートのデザイン画

■ANA ウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社

ANAグループのESG経営とDEI推進のもと、障がいのあるなしに関わらず、全員が貴重な戦力として事業運営に参加し、企業価値の向上、社会貢献を目指しています。多様な働き方を促進し、ANAマイレージ管理、ユニフォーム管理、ユニバーサルコンサルティング、アップサイクル商品の企画販売など様々な事業において、社員一人ひとりが挑戦していける場を創出しています。



ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社

〈展示例〉



ぐい呑み



バゲージタグ

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 広報・ブランド戦略室 TEL：03-5757-8030 9:00-17:30（土日祝除く）